

## 「第 46 回運輸問題研究集会 参加レポート」

三菱電機ロジスティクス労働組合 米村 努

10 月 11 日（火）、例年通り NASPA ニューオータニで開催された「第 46 回運輸問題研究集会」に参加した。



第 1 日目、第 3 講演は、陸上貨物運送事業労働災害防止協会 安全管理士 中尾 陽氏による「陸運業の未来に向けて」であった。私たち陸運業で働く者が置かれている現状の中でも労働災害、長時間労働と過労死ならびに精神障害、荷役作業の安全対策と書面化という部分について説明していただき、それらを踏まえて陸運業の未来に向けて取り組みを進めていくという内容の講演であった。

今後、日本の労働人口が減少し続ける中、陸運業における労働災害は減少のペースが横ばいとなっており、若い働き手を獲得するためにも、労働環境の改善と安全確保の取り組みは一刻の猶予も許されない喫緊の課題である。また、荷役・運転作業中の事故と並んで大きな課題となっているのが、長時間労働を起因とする過労死、脳・心臓疾患・精神障害に関する労働災害である。平成 27 年において、脳・

心臓疾患・精神障害に関する事案の労災補償の請求件数、認定件数ともに、道路貨物運送業は全産業中で高位にあり、とても「魅力ある産業」とアピールできる状態ではない。これらの現状を労使一体となって全力で解決し、減少を続ける働き手を何としても確保していくことが、国民生活の基盤を支える重要な産業としての使命ではないかと感じた講演であった。

以上